

◎リスミー錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 リルマザホン塩酸塩 rilmazafone hydrochloride 【分類】 睡眠誘導剤 [短時間型]

【単位】 ▼1・◎2mg/錠

【常用量】 1回 1～2mg

【用法】 寝る前

【透析患者への投与方法】 腎不全患者に1mg 単回投与したときの血漿濃度は健常成人に2mg 単回投与したときと類似しているため、少量から開始することが望ましい (1, 臨床薬理 23: 573,1992)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 減量の必要なし (5)

【特徴】 筋弛緩作用, 呼吸抑制作用, 依存性が少ない, 短時間作用型で速やかな入眠作用があり, 翌朝への持ち越しが少ない, 神経症に伴う不眠, 身体疾患に伴う不眠, 老人性不眠などに適する。

【主な副作用・毒性】 依存性, 禁断症状, 炭酸ガスナルコーシス, ふらつき, 眠気, 一過性健忘, もうろう状態, せん妄など

【tmax】 3hr (1) 就寝前に服用するよりも夕食後に服用する方がより効果的な場合がある (5)

【代謝】 未変化体で腸で代謝され, その後さらに肝代謝される (1) 血漿中に未変化体は認められず, 4種の活性代謝物に変換されて効果を発揮する (1) アミノペプチダーゼによって脱グリシンを受け閉環後, 順次 M-1, M-2, M-A, M-3 活性代謝物に変換する (1) M-1 から M-2, M-2 から M-A への変換には CYP3A4 が関与し, 各活性代謝物はカルボキシエステラーゼにより M-4 に代謝される (1)

【排泄】 主として不活性代謝物 (M-4) として尿中におよそ 60%排泄される (1)

【t1/2】 8～15hr (1)

【蛋白結合率】 75～90% (1)

【Vd/F】 代謝物の総和として 260L/man (5)

【MW】 547.82

【透析性】 HD 日と非 HD 日の PK に差はない (1) HD による除去効果は少ない (1) 【PD 除去性】 資料なし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 2.1 [酢酸エチル/buffer, pH8] (1) 【pKa】 7.53 (1)

【更新日】 20141104

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。